



『法の概念〔第3版〕
(ちくま学芸文庫)』

H.L.A. ハート (長谷部恭男訳)
(筑摩書房 本体¥1500)



『民事訴訟法(有斐閣ストアディア)』

安西明子ほか
(有斐閣 本体¥1900)



『ニッポンの裁判
(講談社現代新書)』

瀬木比呂志
(講談社 本体¥840)

4位 『憲法〔第5版〕』
芦部信喜(高橋和之補訂)(岩波書店 本体¥3100)

5位 『伊藤真の民事訴訟法入門〔第4版〕』
伊藤真(日本評論社 本体¥1700)

6位 『刑事訴訟法(Legal Quest)』
宇藤崇ほか(有斐閣 本体¥3400)

7位 『判例から考える行政救済法』
岡田正則ほか編(日本評論社 本体¥2500)

8位 『行政法〔第4版〕』
櫻井敬子=橋本博之(弘文堂 本体¥3300)

9位 『刑事訴訟法講義〔第5版〕』
池田修=前田雅英(東京大学出版会 本体¥3800)

10位 『行政法ガール』
大島義則(法律文化社 本体¥2400)

日々の学習と、
今しかできない
思考訓練。

井上信輝

書籍担当



・今月のランキング

ランキング1位は、法哲学の不朽の名著 H.L.A. ハート『法の概念』。今回は新訳に加え、待望の文庫化ということで、手に取る方も多かったのではないのでしょうか。4位の芦部信喜『憲法』は、この春改訂を控えており、楽しみな1冊です。なお、集計期間が試験期間と重なっているため教科書・参考書はランキングから除外しております。

・ランキング外の注目書籍

ランキング外での注目は長谷部恭男編『「この国のかたち」を考える』(岩波書店 本体¥1900)でしょうか。集団的自衛権の行使、あるいは憲法改正に関する問題が盛んに議論されている中、自分たちの暮らしている日本という国がどういふものなのかということについて、今一度考えてみるきっかけになる本ではないかと思

います。

・店員から

早稲田大学生協コーププラザブックセンターは、早稲田キャンパスの端のほうに位置しております。キャンパス中心から少々距離はありますが、いつも多くの学生・教職員の皆さまにご来店いただいております。教科書だけでなく、法律・経済・人文の専門書や雑誌・文芸書・文庫・新書なども幅広く取り揃えておりますので、ぜひ足を運んでいただければと思います。今お読みになっている『法学教室』や『ジュリスト』のバックナンバーもごぞいます。



次号の Bookstore's Voice は
中央大学生協書籍店